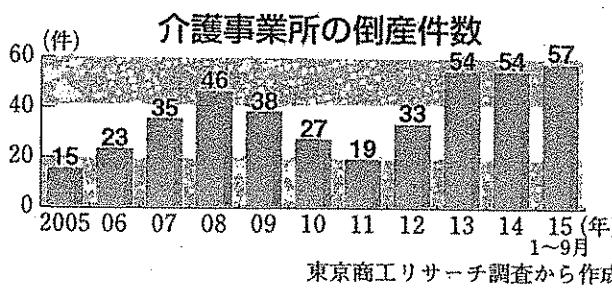


# 介護事業倒産が最悪

## 1~9月報酬引き下げ影響



介護事業所の倒産が過去最悪の勢いで増えていることが8日発表された民間信用調査会社の集計でわかりました。帝国データによれば45件(法

た。帝国データバンクは「4月からの介護報酬引き下げも加わって、事業継続の断念を余儀なくされる現状」

だと安倍政権による制度改悪を原因に挙げました。

東京商工リサーチの集計(法的整理、任意整理を含む)では57件(前年同期比42.5%増)。

介護事業所の倒産が多

いこと、過去最悪の勢いで増えた2000年以降、最も

多ペースです。帝国データによれば45件(法

的整理を対象)で、過去最悪だった13年通年の46件に迫る勢いです。

両社とも調査対象は訪問・介護事業所や有料老人ホームなどです。

要支援者へのサービス切り下げと並行して4月の介護報酬改定で大幅に報酬を引き下げられた訪問介護・通所介護事業所の倒産が多

数にのぼっています。

東京商工リサーチによれば、倒産の内訳は

「通所・短期入所介護事業」が23件(前年同

期11件)と倍増。「訪問介護事業」も23件(同18件)でした。從

業員数別では5人未満が38件(同19件)と倍

増。小規模事業所が7割を占めました。帝国

データの調査でも「訪問介護・通所介護」が40件(全体の88.9%)を占めました。